



第19回腎病理夏の学校



会期: 2024年8月31日(土)12時~18時25分頃、9月1日(日) 8:30~13:00

場所: 日本医科大学 (東京都文京区千駄木)

形式: 講義(初級/中級)(8月31日): 対面またはライブ・オンデマンド
実習(初級/中級)(9月1日): 対面実習(バーチャルスライド使用)

対象者: 腎病理を学習したい臨床医・病理医

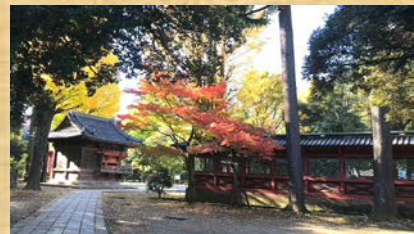
根津神社が裏にございます

募集人数/参加費

・講義及び実習(2日間): 100名程度 / 25,000円

・講義のみ(1日間): 200名程度 / 10,000円

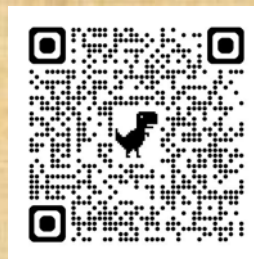
* 全てのコースで、講義のオンデマンド配信は視聴可能です。



主催: 日本腎臓学会・日本腎病理協会

世話人: 日本医科大学 解析人体病理学教室 清水 章 (ashimizu@nms.ac.jp)

お問い合わせ先(事務局): k-takeuchi@nms.ac.jp



申込期間: 2024年5月20日(月)~6月3日(月)

申込方法: Web申込のみ (<https://forms.gle/Uddi1T6HC6UjsQcz5>)

※対面実習は抽選となる場合があります(6月中旬に抽選結果をご連絡します)。

※抽選が外れた場合は、講義のみ(対面またはライブ配信)へのご登録を改めて案内させていただきます。

※参加費用には、8月31日(土)夕方に開催される懇親会の会費が含まれています。

第19回 腎病理夏の学校プログラム

開催スケジュール

8月31日(土)

12:00-12:50 受講生受付開始

12:50-13:00 開校のことば・説明

[初級コース]

[中級コース]

13:00-14:00 腎生検標本の取り扱い

病理形態から病因・病態評価

14:05-15:05 光顕標本の評価と鑑別診断 ネフローゼ症候群の鑑別診断

15:10-16:10 免疫蛍光・免疫組織化学標本

MPGN 型糸球体傷害の鑑別診断

の評価と鑑別診断

16:20-17:20 電顕標本の評価と鑑別診断

尿細管間質病変の病理診断

17:25-18:25 臨床・病理所見からの総合診断

移植腎病理入門

18:50-懇親会

9月1日(日)

08:30-13:00 実習: 初級クラス(典型6症例), 中級クラス(非典型6症例)

13:00-13:05 閉校式

概要: 講義および実習を初級・中級コースに分けて行います。

初級コースでは、これから腎病理を学びたい、病理標本を見始めたばかりの医師を対象にしています。

中級コースは、ある程度腎生検診断を行った医師を対象にしています。

講義は対面とオンラインのハイブリッド形式とします。講義用のハンドブックを事前に送付します。

実習は初級コース用の典型例、中級コース用の非典型例、約6例ずつ準備する予定です。

バーチャルスライドを用いて実習をしますので、バーチャルスライドを事前に郵送します。

コース別に10人程度のグループ分けをし、それぞれにチューターを配置し、

1例30分ほどかけて解説を行い、discussionします。